

2025年度第1回委員会議事録

1. 日 時：2025年4月19日(土) 13:15～14:30
2. 場 所：弘前市民文化交流館・3F 多世代交流室1 と On-line[Zoom]会議
3. 出席者(敬称略)：橋口委員長、大川委員、工藤委員、岡田委員、中沢委員、康アドバイザー、佐藤アドバイザー、村上オブザーバー、吉本オブザーバー、萩原副委員長
欠席者(敬称略)：柳原委員

4. 配布資料：

- ・別添資料 1_特別賛助会員報告会 議事録
- ・別添資料 2_JACLaS Award に関する内規

5. 議事

1) 報告事項

1. 委員等の退任／新任について

退任委員：田畑 直樹 様

退任オブザーバー：菊地 良介 様

新任オブザーバー：吉本 倫子 様

2. AMTT (Association of Medical Technologists of Thailand)とのMOU締結について

- ・昨年10月の第56回大会にてAMTTとのMOU締結の調印式が取り交わされた報告があった。

令和6年10月5日

日本医療検査科学会 第56回大会

高橋 聡 理事長 (左)

Pitak Santanirand 理事長 (右)



3. 特別賛助会員報告会 (2025年12月6日)開催の報告 (別添資料1)

- ・以下について報告があった。

特別賛助会員に対し2023年度の活動報告と2024年度の活動進捗の報告

特別賛助会員と海外での活動について活発な意見交換が行われた

- ・報告会の開催形式に関して、会場参加以外にオンライン参加も可能にする方が望ましいとの意見があった。

4. The International Symposium of AMTT (Association of Medical Technologists of Thailand) での発表

- ・ 2025 年 5 月 29 日 (木) ICONSIAM, Bangkok
- ・ Invited speakers from JCLS (3 speakers)
尾田 一貴 先生(熊本大学)、工藤 芳子 先生(昭和医科大学)、岡田 光貴 先生(京都橘大学)
- ・ Student Research Presentations (2 Japanese)
国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科 藤沼 峻太 様
東京科学大学 医学部 保健衛生学科検査技術学専攻 和泉 早希 様
- ・ 表敬訪問者
高橋 聡 理事長、橋口 照人 委員長、大川 龍之介 委員

5. JACLaS Awardに関する内規について (別添資料2)

- ・ 内規に以下を追記することについて、本日の理事会に諮った。
“Award I・IIの受賞者より合計2名をJCLSにて選出し、翌年海外で開催される学術集会にて演題発表を行う。学会参加にかかる参加費、交通費、宿泊費はJCLS国際交流委員会が負担する、参加のための交通費、宿泊費合わせて上限を20万円として実費を支給するものとする”
- ・ 理事会にて、以下について追加検討の要請があった。
 - * 海外で開催 → 原則としてMOUを締結した学会に変更
 - * 演題発表 → 講演に変更。また「希望すれば講演を行える権利を有する:的文言追記
 - * 選出者が海外講演を希望しない場合は? → 繰り上げとする旨を回答した
 - * 選考基準を明確にして追加を
- ・ 採点について、Award演題の発表枠を一般演題の枠内に変更したため、同一セッションとは異なり採点が難しくなる点について検討を要する

上記について再検討した上で改めて理事会に諮ることとなった旨が報告された。

2) 審議事項

1. 第57回大会 国際交流委員会企画について

テーマ: 次世代に繋ぐ国際交流 (仮)
10月3日(金) 13:00 ~ 15:00 (予定) パシフィコ横浜
「JCLS 国際交流 シンポジウム (仮称)」
候補者の選定: 海外2~3名、国内2~3名
10月5日(日) 13:00 ~ 15:00 (予定) パシフィコ横浜
「JCLS 若手技師国際交流シンポジウム (仮称)」
候補者の選定: 海外2~3名、国内2~3名

- ・ 1日目: タイ、ベトナム、中国から各1名。国内から2名とし、講演時間は30分/人。
- ・ 3日目: タイ2名、国内から2~3名とし、講演時間は20分/人。
若手の定義について、厳密に定めてはいないが40歳以下を目安とする。
- ・ 国内演者の候補については、委員長から委員にメールにて相談することとした。
- ・ 海外演者について、MOU締結のタイから毎年3名に加えて、今後MOU締結を増やすとなると、講演枠の割り振りと確保について、将来的に検討する必要がある。
- ・ 中国 装備学会への連絡事項として以下について吉本委員から連絡を入れることとした。

- * 今年の10月か来年度に招聘できる
- * 委員会メンバーとの交流
- ・別件、中国の上海検査医学会から、学会招待に関して連絡は来ていない。
康先生から確認をしてもらうことにした。

2. JACLaS International Award の進捗について

- ・8演題の応募（中国4、タイ3、ベトナム1）があり、現在各委員に採点をお願いしている。
- ・採点点数と国のバランスも考慮し受賞者を決定することとした。

3. 海外からの一般演題の登録・受付について

- ・前年度、Webによる英語の演題募集登録に支障が生じて、Wordファイルでの募集となった。
- ・今年の募集方法が決定したら、各委員から関係国の学会や学校にアナウンスをお願いすることとした。

3) その他

1. 東南アジアにおける糖尿病に関する支援の件について

- ・NCGMの国際展開推進事業を通じて東南アジアへの支援を計画していたが、他国への教育支援は難度が高い。
- ・今後の方向性については、検査関係に特化して検査方法、精度管理、企業の製品紹介などについて現状のResearchを進めることとした。

以上
(記録：萩原)